

電磁応用

第56号 2000年5月

平成11年度第2回理事評議員会議

去る、平成12年3月24日、新宿ホテルハイヤットにおいて平成11年度第2回理事評議員会議を開催した。平成12年度の経済事情も極めて厳しいものがあると思われるので、事業は受託研究を重点とすることとし、その予算を承認し今後の運営についても討議を行った。

技術懇談会は平年並に行なうこととした。

資料 第1号議案 平成11年度 事業成果中間報告書

第2号議案 平成12年度 事業計画書

第3号議案 平成12年度 予算計画書

平成11年度 研究成果

理事 大附 辰夫 ハードウェア/ソフトウェア協調設計に関する研究

システムVLSI全体の実現は、結線論理によるハードウェアによる実現部およびマイクロプロセッサを用いたプログラム論理によるソフトウェア実現部とに分離することができる。システムVLSI設計にとって、いかにハードウェアによる実現部とソフトウェアによる実現部を決定するかが鍵となる。特にハードウェアによる実現部とソフトウェアによる実現部を同時に最適設計する設計技法は、ハードウェア/ソフトウェア協調設計と呼ばれる。

